

2025年  
3月10日  
発売決定



# みんなの 有機農業 技術大事典

ISBN:978-4-540-24105-5

全2巻 共通技術編／作物別編 (分売不可)

農文協編 B5判上製 各1100頁予定 定価44,000円(税込)

掲載記事400本、著者は計350名を超え、農家も100名以上登場。  
全国の有機農業関係者みんなでつくる大事典。

## ● 有機農業の技術伝承待ったなし

有機農業に取り組む農家(経営体)は現在、全国に約6万9000戸(2020年センサス)。しかし、その63%は65歳以上で、うち7割は後継者がいない。一方で、新規就農者の約20%が有機農業に取り組んでおり、先駆者の知恵や技術が失われてしまう前に有機農業技術を伝承することは喫緊の課題である。

## ● 「みどり戦略」を農家のものにする

みどり戦略は有機農業への関心を一気に高め、強烈な推進力を発揮している。これを一過性のブームに終わらせるわけにはいかない。本書は、農水省が作成した「みどりの食料システム戦略技術カタログ」にも対応。カタログで紹介されているさまざまな技術や研究を、より詳細に解説する。ただし、「農家が本当に現場で使えるか」という視点で厳選。

## ● 官より民が先を行くのが有機農業の技術

本書は「共通技術編」「作物別編」各1100頁(予定)の2巻セット。その核を成すのは、全国の農家事例。農文協の機関雑誌『現代農業』に登場する農家たちに、試行錯誤して磨き上げた農業技術を紹介していただく。農研機構が有機農業の研究に本腰を入れたのは2006年制定の「有機農業推進法」以降。それも稲作が中心で、野菜や果樹は近年ようやく活発に研究されるようになってきた。農家のほうが圧倒的に先を行くのが有機農業の技術だ。アグロエコロジーやリジェネラティブ農業など、海外の考え方や技術が注目を集めているが、日本の有機農業もまったく負けていないことが、本書を読めばよくわかる。

## ● 慣行農法を敵にはしない。 有機JASも自然農法も環境保全型農業も仲間

有機農業にはさまざまな農法や考え方がある。耕すか耕さないか、固定種かF1品種か、動物性堆肥を使うか使わないか、JASで認められた農薬を使うか否か。本書はそれらの違いを乗り越えた1冊。さらにいえば、無農薬や無化学肥料だけが有機農業ではない。ベテランも新人も、農法の違いも関係なく、循環型で持続可能で生物多様性で脱炭素を目指す、すべての農家が有機的に繋がる本という思いを書名に込めた。



クズ小麦を使った生き草マルチ



石灰防除



光合成細菌の田んぼへの流し込み

# 『みんなの有機農業技術大事典』の構成、主な内容予定

## 第1巻 共通技術編 (約1100頁)

### ■第1部 有機農業とは何か

有機農業のパラダイム／世界と日本の有機農業の歴史／有機農業の認証制度／有機農家の消費者運動と「提携」／オーガニック給食から産地づくりへ／有機農業公園が育てる消費者の意識／みどり戦略が描く日本有機農業の未来／世界で活躍する小農とアグロエコロジー／有機農法の多様性とリジェネラティブ農業／世界の有機農業：アメリカ・EU・中国

### ■第2部 有機農業と炭素貯留、生物多様性

炭素循環・炭素貯留・地球温暖化防止／チッソ固定・自然養分供給システム（根粒菌・菌根菌・菌糸ネットワークほか）／有機農業と生物多様性

### ■第3部 有機農業の共通技術

不耕起栽培／半不耕起栽培／緑肥・カバークロープ・リビングマルチ／混植・混作／輪作／有機物マルチ／太陽熱処理・土壌還元消毒／土ごと発酵／土壌診断・微生物診断と減肥／自家採種と育種、有機農家がつくり続けている品種一覧／天敵活用

### ■第4部 農家の有機資材

モミガラ／モミガラくん炭／米ヌカ／ワラ・カヤ／落ち葉・踏み込み温床／竹チップ・竹パウダー／堆肥／ボカシ肥／腐菌床／木酢液／土着菌・天恵緑汁／えひめAI／光合成細菌／タンニン鉄

### ■第5部 無農薬・減農薬の技術

納豆防除／米ヌカ防除／石灰防除／酢防除・酢除草／高温処理・ヒートショック／RACコード／月のリズムに合わせて栽培／病害抵抗性誘導

### ■第6部 話題の有機栽培

BLOF理論／菌ちゃん農法／ヤマカワプログラム

付録 天敵に影響の少ない農薬一覧／有機JASで使える資材一覧／有機農業の推進に関する法律／JAS法（日本農林規格等に関する法律）

## 第2巻 作物別編 (約1100頁)

### ■水稲

有機農家の技術と経営事例／播種と育苗／有機物施用と減肥／除草剤を使わないイネづくり／斑点米カメムシ対策

### ■畑作・転作作物

ダイズ・ムギ・子実トウモロコシ・ソバ・雑穀

### ■野菜・花

有機農家の技術と経営事例／ナス、トマト、ピーマン、キュウリ、カボチャ、ズッキーニ、スイートコーン、オクラ、ソラマメ、エンドウ、エダマメ、インゲン、ネギ、タマネギ、キャベツ、ハクサイ、ナバナ、ハウレンソウ、春の菜っば、夏の菜っば、レタス、ニンニク、ショウガ、ニンジン、ダイコン、ジャガイモ、サトイモ、花卉

### ■果樹

有機農家の技術と経営事例／草生栽培／天敵を利用した防除技術

### ■茶

有機農家の技術と経営事例／農薬以外の防除技術

### ■畜産

平飼い養鶏／放牧養豚／放牧酪農

### 索引



コウノトリ育苗田んぼづくり

## 執筆者は合計 350 名を超え、農家も 100 名以上登場！

所属は、農林水産省はじめ、各都道府県の農業試験場、普及センター、各市町村役場、大学や農研機構、日本有機農業研究会、日本有機農業学会、民間稲作研究所、自然農法国際研究開発センター、そして農家と多岐にわたります。

## ◎注文書◎

2025年3月10日発売

みんなの有機農業技術大事典 全2巻  
(分売不可)

定価 44,000 円 (税込)

セット

ISBN:978-4-540-24105-5

フリガナ	(〒 - )	
お名前 (団体名)	ご住所	
(ご担当)		
TEL.	FAX.	E-mail.

**農文協** 一般社団法人 農山漁村文化協会 <https://shop.ruralnet.or.jp/>  
〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田2-2-2 TEL.048-233-9351 FAX.048-299-2812

- 北海道支部 (札幌) TEL.011-271-1471 FAX.011-261-2809
- 東北支部 (仙台) TEL.022-262-5804 FAX.022-221-2235
- 関東甲信越支部 (小山) TEL.0285-27-3047 FAX.0285-27-6804
- 東海北陸近畿支部 (名古屋) TEL.052-746-2061 FAX.052-746-2063
- 東海北陸近畿支部 (大阪) TEL.06-6962-0491 FAX.06-6962-4855
- 中国四国支部 (岡山) TEL.086-231-2693 FAX.086-232-0385
- 九州沖縄支部 (福岡) TEL.092-586-6505 FAX.092-586-6507